

会 議 録

会 議 の 名 称	行田市在宅医療・介護連携推進協議会 普及啓発部会 ふらっと部会	
開 催 日 時	令和８年５月１４日（木） 開会：１８時３０分・閉会：１９時３０分	
開 催 場 所	産業文化会館 第２会議室	
出席者（委員） 氏 名	松井毅、平野輝利人、山岸克也、寒河江涼太、新井竜、加藤里美、今井和則、阿部麻季、前田千穂、高田直子、浅見純一、河野真也、川島治	
欠席者（委員） 氏 名	矢那瀬淳一、荒木宏、鈴木伸吾、青木和宏、藤村幸子、野口清美、堀内規、小林永治、江黒徹、河野真也、島田由紀子、高松真由美、増田和世	
事 務 局	行田市高齢者福祉課地域包括ケア担当 行田市機能強化型地域包括支援センター緑風苑	
会 議 内 容	・「行田人」第２５号内容について ・その他	
会 議 資 料	（資料名・概要等）	
そ の 他 必 要 事 項		
会議録の確定	確定年月日	主宰者記名
	令和８年月６月１１日	松井 毅
		平野輝利人

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
今井 平野 新井 浅見 平野 会長 浅見 寒河江 河野 寒河江 山岸 阿部 松井 松井 新井	[開会] 18 : 30 ○研修会の日程確認（別紙あり） ～事例について～（事例紹介参照） 内容について 時間はどのくらいを予定しているか。 15 分程度話が盛り上がるかも。内容的にボリュームがあるため 15 分ぐらいにはなる。 ボリュームが大きく感じる。内容を絞ったほうが…。 アンケートを集計した。医療職と介護職のカラーが出ている。集計していて医療介護共にヒエラルキーがでていたのではと感じた。お互いの認識をそろえることが重要では。それによって、共通理解、共通言語ができるのでは。共通認識ができるようにしたらどうか。 はじめに川島会長に導入講義をお願いしたい。 内容が決まったら、教えてほしい。その方向で話します。 課題として何を望んでいるのか大切。 課題に対して、考えられるグループワークが良いのでは。 事例のボリュームはこれで良いと思う。 介護職が導き出せるように内容を追加しては。 全体の構成は、時間配分など。グループ分けは多職種か。 家族関係、趣味などあれば、介護職として理解しやすい。例えば、カラオケや食べ歩きは嚥下につながるなど。 栄養関係の情報、夫が料理をしている。介護力がある娘が近所いるなど。 課題整理はグループワークで行うほうが良いのでは。2 ～ 3 目標をもっと具体的にしたらどうか。 1 日の過ごし方は。ベッドの有無、難しい専門用語 N G である。

高田	福祉用具はどうか。
寒河江	在宅では、本人の意向が強くなり、本当に動けなくなるまで、サービスを入れられないのが問題ということを落としどころにしたらどうか。
松井	各グループのファシリテーターはケアマネが良いのでは。
河野	アセスメントを出し合うとお互いの不足がわかり、相互理解につながるのでは。
	19：20～
	普及啓発より（「行田人」第 25 号内容について）
	3～4 について先に話した通り
	【閉会】19：30